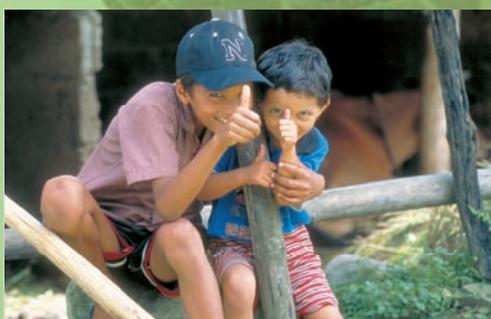


# 事業評価年次報告書 2007



# 事業評価年次報告書 2007



## はじめに

2003年10月に独立行政法人となった国際協力機構（JICA）は、「現場主義」「人間の安全保障」「効果・効率性、迅速性」を3つの柱として掲げ、国民の皆様の期待に応え、開発途上国の経済社会の発展と平和構築に真に寄与するべく協力事業を行ってまいりました。2008年10月には、これまで実施してきた技術協力事業に加え、無償資金協力事業の大きな部分と国際協力銀行（JBIC）が担ってきた円借款事業の実施を三位一体で担う世界有数規模の二国間援助機関として、新しいJICAが誕生することになります。

事業評価は、JICAが国民の皆様の理解と支持を得つつ、より効果的・効率的な事業を実施して行くための重要な手段です。これまでJICAは、事業評価の拡充・強化、事業改善に向けた評価結果の活用（フィードバック）の推進、評価結果の公表体制の充実に取り組んでまいりました。「事業評価年次報告書」は、事業評価活動のあらましや、個別評価結果の総括を示すことにより、「JICA事業が全体として効率的・効果的に行われているのか」を、まとまった情報としてわかりやすく提供することを目指しています。なお、個別の評価結果については、ホームページを通じて迅速に公表しております。

2007年度の報告書では、戦略的に投入を組み合わせるより高次の協力効果の達成をねらうJICAプログラムの評価結果や、地方分権化において重要となる地方行政能力向上に関するテーマ別評価の結果を報告しています。評価によって得られた提言・教訓をフィードバックした事例についても紹介しています。また、JICAが実施した終了時評価について、外部有識者事業評価委員会に2次評価の労をとっていただきました。今回は、評価結果によってプロジェクトを格付けするレーティングをあらたに試みました。事業や事業評価のあり方についてさまざまなご提言をいただき、JICAとしてはこれらを真摯に受け止め、改善に向けた取り組みを進めていく所存です。

本報告書が、JICA事業に対する皆様のご理解をさらに深め、いっそうのご支援をいただくようになれば幸いです。

最後になりましたが、本報告書の作成に当たりご協力を賜りました、外部有識者はじめ多くの方々に、あらためて心より御礼申し上げます。

2008年2月

独立行政法人国際協力機構

理事 黒木雅文

# 「事業評価年次報告書2007」掲載の評価調査対象国・地域





メキシコ  
キューバ  
ドミニカ共和国  
ジャマイカ  
トリニダード・トバゴ  
グアテマラ  
エルサルバドル  
ホンジュラス  
ニカラグア  
パナマ  
コロンビア  
エクアドル  
ペルー  
ブラジル  
ボリビア  
パラグアイ  
チリ  
アルゼンチン

フィジー

はじめに .....	3
------------	---

## 第 1 部

## JICAの事業評価

第1章 JICAの事業評価活動と評価の拡充・強化への取り組み .....	10
第2章 評価結果の活用による事業改善 .....	20

## 第 2 部

## プロジェクト・レベルの評価

2006年度個別案件評価の概況 .....	26
-----------------------	----

## 第 3 部

## プログラム・レベルの評価.....40

第1章 JICAプログラムの評価	
2006年度JICAプログラム評価について（総括） .....	41
インドネシア国「スラウェシ州地域開発プログラム」 .....	47
ボリビア国「貧困地域飲料水供給プログラム」 .....	53
ガーナ国「アッパーウェスト州住民の健康改善プログラム」 .....	59
アフガニスタン国「保健医療セクタープログラム」 .....	64
第2章 テーマ別評価	
特定テーマ評価「地方行政能力向上～インドネシアを事例として～」 .....	70

## 第 4 部

## 外部有識者事業評価委員会による2次評価

外部有識者事業評価委員会による2次評価について .....	80
JICAの評価と事業の改善に向けて（まとめ） .....	81
2007年度2次評価結果 .....	84

## 資 料

個別案件評価実績一覧（2006年度） .....	115
開発援助・評価用語 .....	119

# 図・表・BOX 一覧

## 図

1-1	ODAの体系図とJICAの評価	10
1-2	JICAの事業サイクルと評価の位置づけ	11
1-3	JICAにおける評価実施体制	13
3-1	評価の枠組み	42
3-2	南スラウェシ州地域開発プログラム基本構想(現行プログラム)	49
3-3	プログラム目標達成度分析の手法	56
3-4	貢献に至るまでの概念図	57
3-5	アフガニスタン国保健医療セクターへの協力図	68
4-1	2次評価体制	85
4-2	評価項目別の評点(平均点)	87
4-3	評価項目別の評点分布	88
4-4	各評価項目における視点の評価点(平均点と分布)	89
4-5	評価の質が高いとされた5案件	93
4-6	評価の質が低いとされた4案件	93
4-7	終了時評価の質の経年的変化(評点の平均)	95
4-8	本部による評価と在外事務所による評価の質	96
4-9	2次評価者によるプロジェクトの評価(評点の平均)	99
4-10	2次評価者によるプロジェクトの評価の評点分布	99
4-11	各評価項目における視点の評価点(平均点と分布)	100
4-12	地域別評価(評点の平均)	102
4-13	高く評価された5案件	104
4-14	低く評価された5案件	104
4-15	2次評価者によるプロジェクトの評価の経年的変化(評点の平均)	105
4-16	2次評価者によるプロジェクトの評価の経年的変化(分布)	106
4-17	JICA本部・在外事務所主管別のプロジェクトの評価	106

## 表

1-1	評価5項目の視点	13
1-2	NGO-JICA評価小委員会メンバー	16
1-3	外部有識者事業評価委員会	18
1-4	評価結果を活用した案件例	20
1-5	フィリピン「農村生活改善研修強化計画」の評価結果がフィードバックされた事例	21
1-6	特定テーマ評価「環境センターアプローチ」の評価結果がフィードバックされた事例	22
1-7	「スラウェシ貧困対策支援村落開発計画」の評価結果がフィードバックされた事例	23
1-8	「総合分析:初中等教育/理数科分野」の評価結果がフィードバックされた事例	24
3-1	プログラム・レベルの評価(2006年度実施案件)	40
3-2	評価項目と評価設問例	42
3-3	南スラウェシ州における旧案件群	48
3-4	評価対象プログラムのおもな構成案件	54
3-5	プログラムの対象ではないが関連する事業	54
3-6	「生命の水」プロジェクト開始前後の給水設備整備状況	56
3-7	ガーナ国「アッパーウエスト州住民の健康改善プログラム」の構成案件	59

## 表

3-8	評価対象プログラムのおもな構成案件	65
3-9	評価調査対象案件	71
3-10	インドネシア地方行政能力向上にかかる課題体系図	72
3-11	対象案件の概要と課題へのアプローチ	73
3-12	インドネシア課題体系図とJICAおよび他ドナーによるアプローチ	74
4-1	2004年度、2005年度、2006年度、2007年度の評価視点および評価スケールの比較	86
4-2	2次評価項目	87
4-3	総合評点上位5案件と下位4案件における評点の平均	93
4-4	質が高いと評価された終了時評価	94
4-5	質が低いと評価された終了時評価	94
4-6	終了時評価の質の経年的変化(評点の平均)	95
4-7	地域別評価(評点の平均)	102
4-8	終了時評価報告書に基づく2次評価者によるプロジェクトの総合的評価重みづけ評点	103
4-9	重みづけ総合評点上位5案件と下位5案件における視点・評点の平均	104
4-10	2次評価者によるプロジェクトの評価の経年的変化(評点の平均)	105

## Box

BOX1	多様な事業への評価の導入 —テーマ別評価「国際緊急援助事業」—	15
BOX2	NGOとの協力 —特定テーマ評価「住民参加フェーズ2」—	16
BOX3	事業評価における他の援助機関との連携 —バリ宣言フォローアップ—	17
BOX4	外部有識者による2次評価(案件別事後評価)	18

## 付表

付表1	2007年度2次評価対象案件	109
付表2	2次評価票(2007年度版)	110

表紙の写真…撮影：今村健志朗、其田益成、浜田一男  
 P1(冒頭の扉)、P9(第1部の扉)、P39(第3部の扉)、P79(第4部の扉)の写真…撮影：今村健志朗  
 P25(第2部の扉)の写真…撮影：吉田勝美